

白鶴美術館 2020年春季展開催

2020年3月3日(火)から6月7日(日)まで

素材をテーマに展示(重要文化財12点等)

公益財団法人白鶴美術館(神戸市、1934年開館)では、3月3日(火)から2020年春季展覧会を開催します。当館には、金・銀・銅を用いて作られた数多くの美術作品が所蔵されています。今回は、その中から、重要文化財12点を含む68点の優品を展示し、金工美術の装飾美を紹介します。

また、新館では、絹・羊毛・綿といった素材に着目してのペルシア、アナトリア、コーカサス絨毯計22点を展示します。

会期中には、講演会やワークショップなど、来館者が自由に参加できる各種イベントも開催します。

開催概要

- 【本館】 「金×銀×銅 ー東洋の金工美術ー」
- 【新館】 「絹・羊毛・綿 ー中東絨毯の糸ー」
- 期間 2020年3月3日(火)～6月7日(日)
- 休館日 毎週月曜日 但し、5月4日(祝・月)は開館、5月7日(木)を休館
- 開館時間 午前10時～午後4時30分(入館は午後4時まで)
- 入館料 大人:800円/65歳以上・大学・高校生:500円/中・小学生:250円
(大人、大学・高・中・小学生団体20名以上は2割引き)

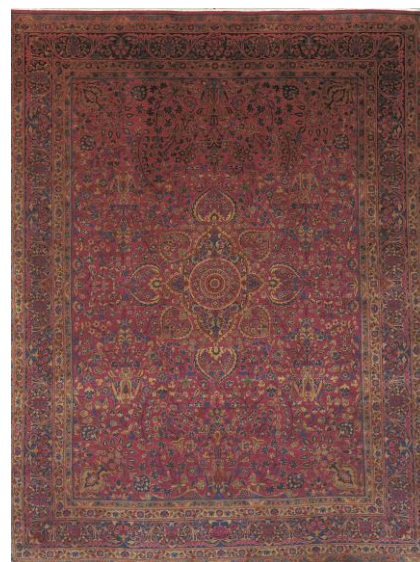
主な展示品



きんぎんへいだつ か しちようじゅうもんほち か きょう
金銀平脱花枝鳥 獣文八花鏡

中国・唐時代

金・銀・銅全ての素材を用いた約1300年前の鏡。



カーシャーン (マンチェスター)

ペルシア、20世紀初期

絹を思わせるほど良質な羊毛で作られた絨毯。

【白鶴美術館とは】

「世界的価値のあるコレクションを私蔵するのではなく、ひとりでも多くの方の目に触れてほしい。」

白鶴美術館は、そんな願いを持った嘉納治兵衛（鶴翁・白鶴酒造7代）によって昭和9年（1934年）に開館されました。古美術品500点で出発した当館は現在、国宝2件（75点）、重要文化財22件（39点）を含む約1450点以上の作品を所蔵。戦争と空襲、大震災など幾多の苦難を乗り越えて、価値ある古美術品を現在に残しています。



1934年開館の美術館本館

展覧会に伴うイベント情報

講演会「白鶴美術館館蔵品に探る日本金工の源流」

日時：5月17日（日）午後2時から3時30分まで
講師：村上 隆 氏（歴史材料科学者・高岡市美術館館長）

テキスタイル・レクチャー「古代の錦と金糸」

日時：5月3日（祝・日）午後2時から3時まで
講師：河上 繁樹 氏（関西学院大学文学部教授）

特別ワークショップ「^{かざりかなぐ}銚金具あれこれ」

日時：5月9日（土）・10日（日）ワークショップ 午前10時から午後4時 / お話し 午後2時～3時
講師：森本 安之助 氏（森本^{かざりかなぐ}銚金具製作所）

美術に親しむ会「金・銀・銅の美術、この一点！」

日時：4月26日（日）午後1時から3時まで
講師：当館学芸員

アート・トーク「展示品を語る」（当館学芸員によるスライド解説）

日時：3月8日（日）・22日（日）、4月5日（日）・19日（日）、5月24日（日）、6月7日（日）、
午後2時から3時まで

ワークショップ「クルッと反転！紙が要（かなめ）のミニ屏風」

日時：5月中の毎週日曜日 午後1時30分から4時まで
指導員：甲南大学学生

アクセス

〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手6-1-1

- ・阪急御影駅から北東約1km（徒歩約15分）
- ・無料駐車場あり（大型バスも可）
- ・阪神御影駅、JR住吉駅から市バス38系統渦森台行「白鶴美術館前」

本件に関するお問い合わせ

学芸課：海原・田林・山中

〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手6-1-1 Tel/Fax: 078-851-6001

